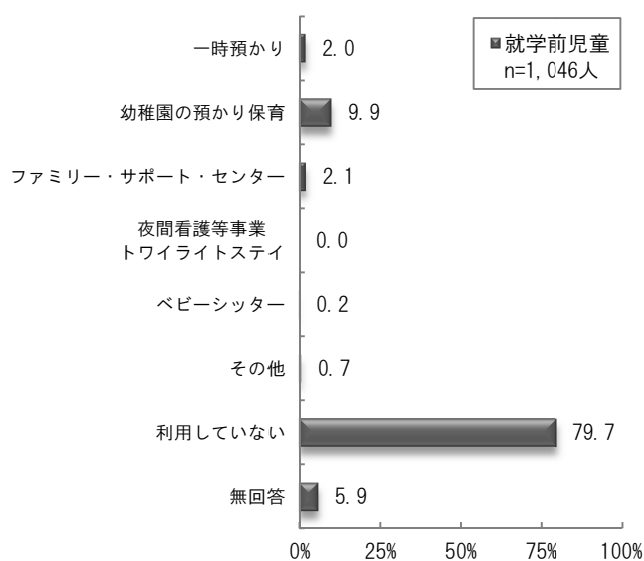


(2) 不定期の一時保育の利用について

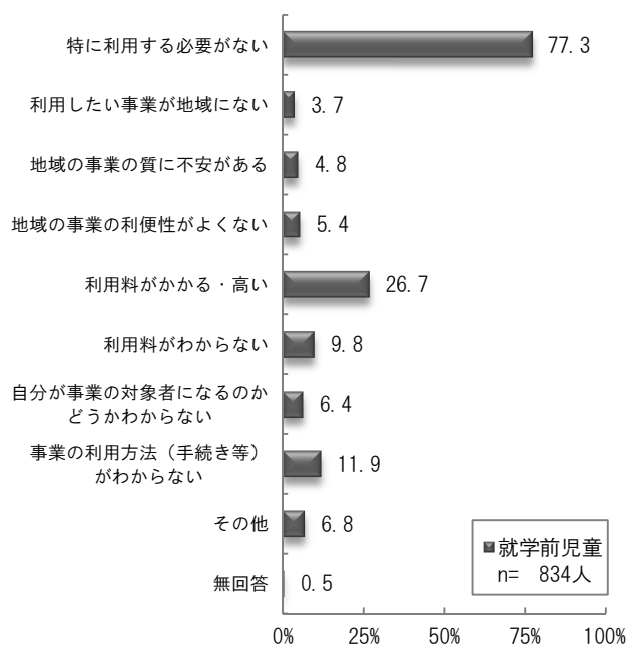
一時保育の利用状況をみると、「幼稚園の預かり保育」(9.9%)、「ファミリー・サポート・センター」(2.1%)となっています。

利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(77.3%)、「利用料がかかる・高い」(26.7%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(11.9%)の順に多くなっています。

問 23 一時保育事業の利用状況

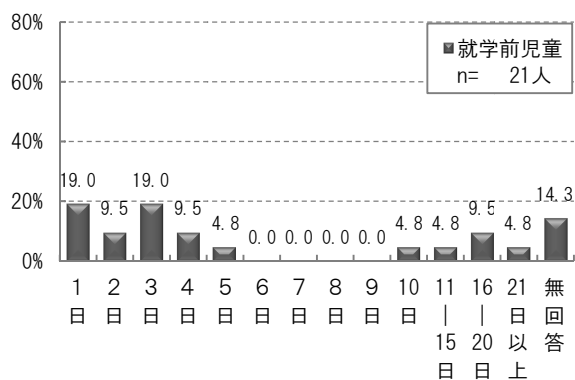


問 23-1 一時保育を利用していない理由



事業ごとに利用日数をみると、一時預かりは、年間「1 日」「3 日」（各 19.0%）、
「2 日」「4 日」「16-20 日」（各 9.5%）の順に多くなっています。

問 23.1 一時預かり（年間）



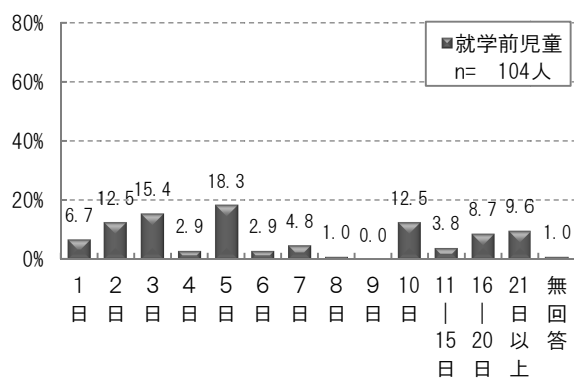
幼稚園の預かり保育は、年間「5 日」（18.3%）、「3 日」（15.4%）、「2 日」「3 日」「10 日」（各 12.5%）の順に多くなっています。

ファミリー・サポート・センターは、「1 日」（27.3%）、「2 日」（22.7%）、「5 日」「11-15 日」（各 9.1%）の順に多くなっています。

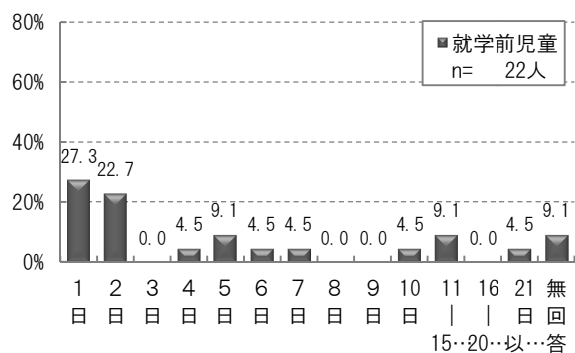
ベビーシッターは、「3 日」（50.0%）でした。

その他の事業は、「1 日」（42.9%）「5 日」「16-20 日」（各 14.3%）の順に多くなっています。

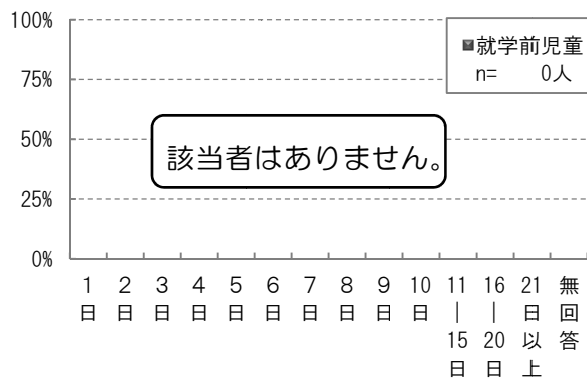
問 23.2 幼稚園の預かり保育（年間）



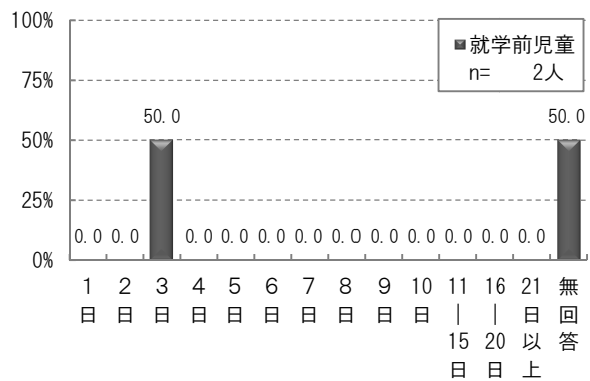
問 23.3 ファミリー・サポート・センター（年間）



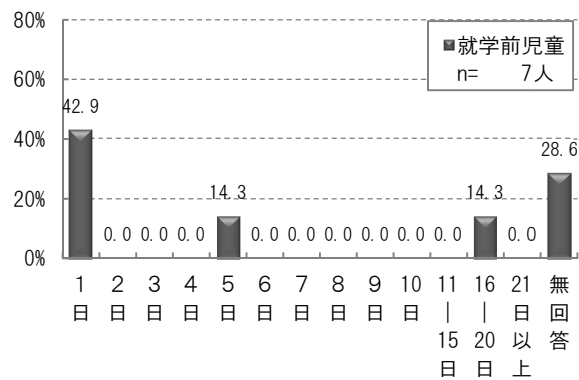
問 23.4 夜間養護等事業（年間）



問 23.5 ベビーシッター（年間）

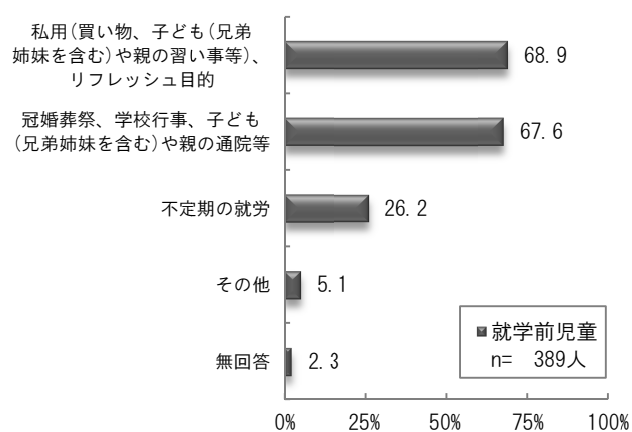
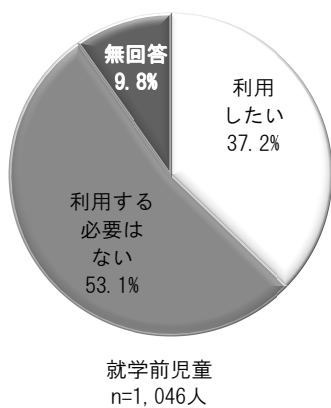


問 23.6 その他（年間）

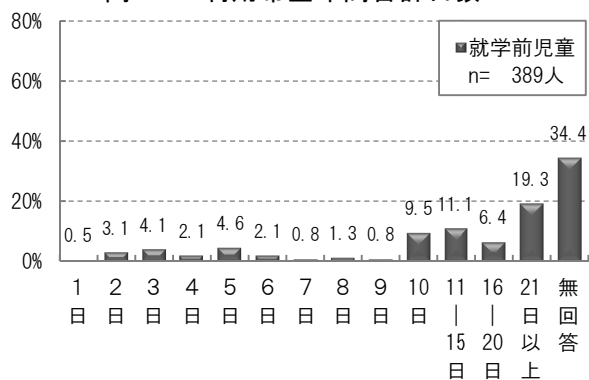


一時保育事業の利用希望とその目的は、「利用する必要はない」（53.1%）、「利用したい」（37.2%）となっています。利用したい方の利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」（68.9%）、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（67.6%）、「不規則の就労」（26.2%）の順に多くなっています。

問 24 一時保育事業の利用希望とその目的



問 24.1 利用希望年間合計日数



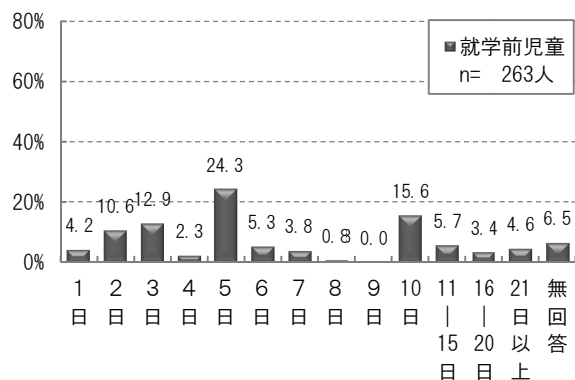
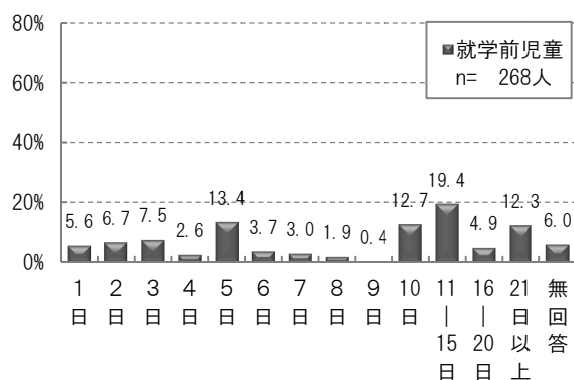
目的ごとの希望利用日数をみると、私用・リフレッシュ目的は、年間「11-15日」(19.4%)、「5日」(13.4%)、「10日」(12.7%)、「21日以上」(12.3%)の順に多くなっています。

冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的は、「5日」(24.3%)、「10日」(15.6%)の順に多くなっています。

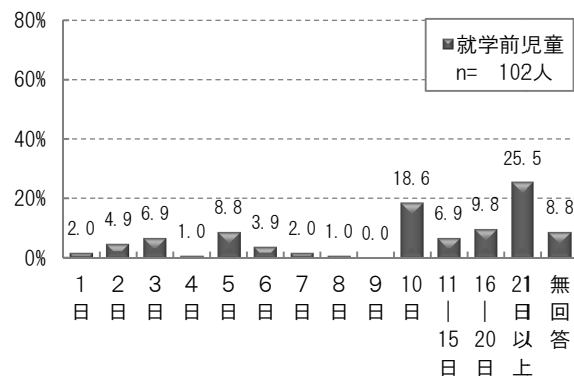
不定期の就労目的は、「21日以上」(25.5%)、「10日」(18.6%)、「16-20日」(9.8%)の順に多くなっています。

その他の目的は、「10日」(30.0%)が最も多くなっています。

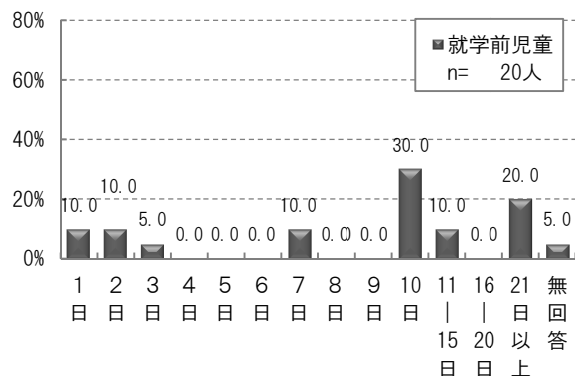
問 24.1. ① 私用、リフレッシュ目的 問 24.1. ② 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的



問 24.1. ③ 不定期の就労目的

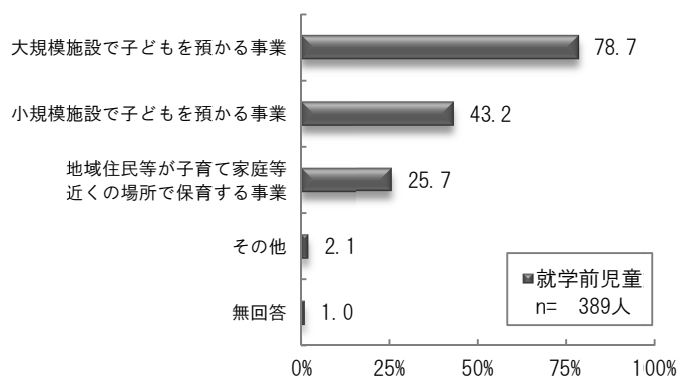


問 24.1. ④ その他の目的



子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「大規模施設で子供を預かる事業」（78.7%）、「小規模施設で子供を預かる事業」（43.2%）、「地域住民等が子育て家庭等近くで保育する事業」（25.7%）の順に多くなっています。

問 24-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

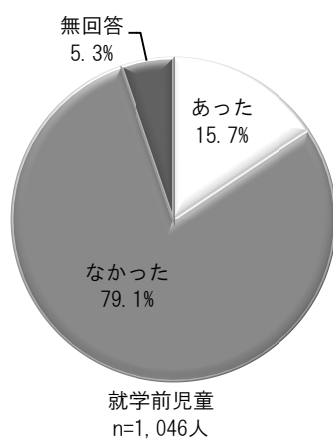


(3) 宿泊を伴う一時保育の利用について

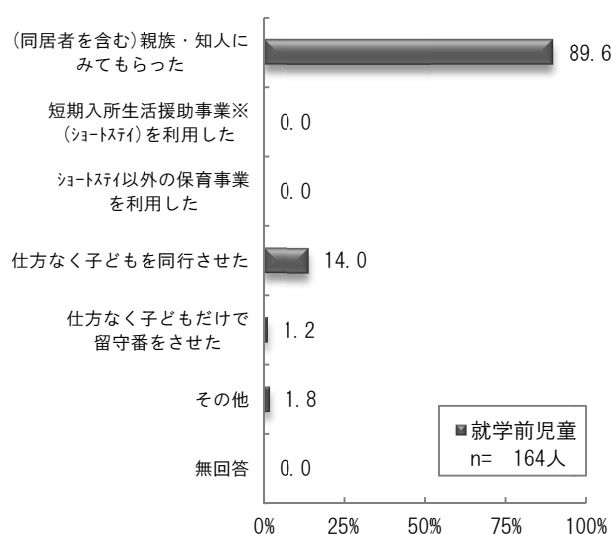
この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けた方は、1割強います。

この対処方法は、「(同居人を含む)親族・知人にみてもらった」(89.6%)が最も多くなっています。また、親族・知人にみてもらった場合の困難度は、「どちらかという困難」(36.5%)、「非常に困難」(11.6%)となっています。

問 25 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無

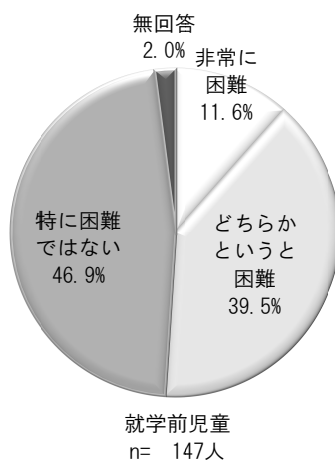


問 25.1 1年間の対処方法



※短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

問 25-1 親族・知人にみてもらった場合の困難度



(同居者を含む)親族・知人に預けた泊数は、「1泊」(28.6%)、「2泊」(15.6%)、「5泊」(13.6%)の順になっています。

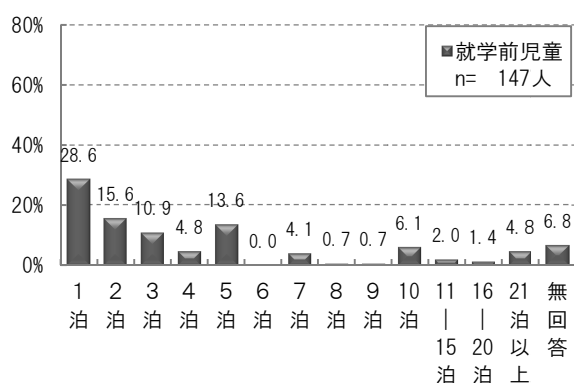
ショートステイを利用した泊数、ショートステイ以外を利用した泊数の回答はありませんでした。

子どもを同行させた泊数は、「1～3泊」(各21.7%)、「5泊」「7泊」「16-20泊」(各4.3%)の順に多くなっています。

子どもだけで留守番をさせたでは、「2泊」(50.0%)でした。

その他の対処をした泊数では、「1泊」(66.7%)の回答がありました。

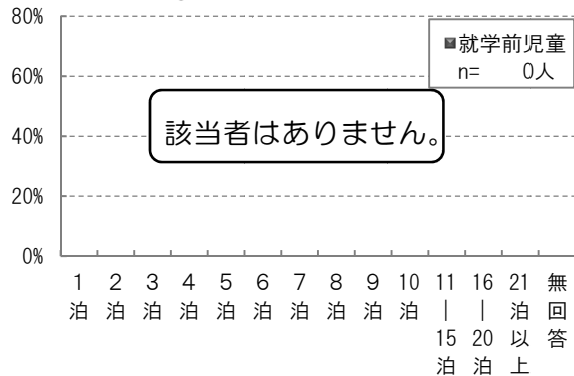
問 25. 1. ① (同居者を含む) 親族・知人に預けた泊数



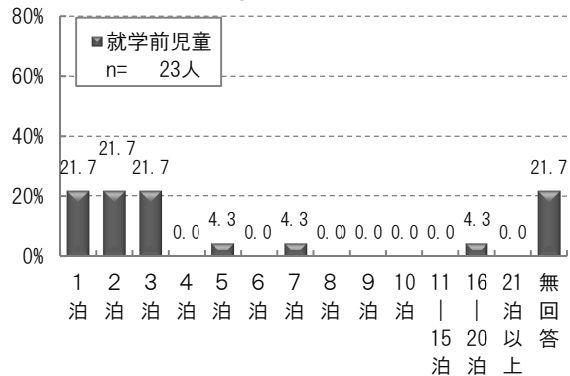
問 25. 1. ② ショートステイを利用した泊数



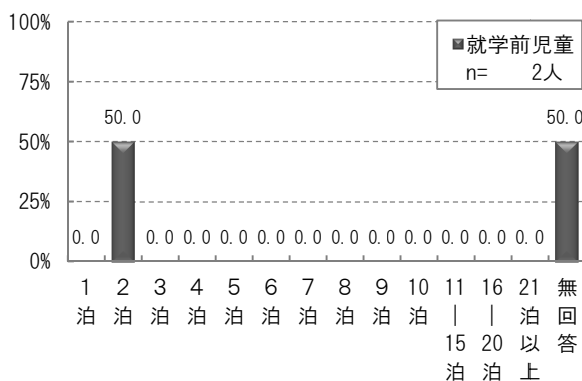
問 25. 1. ③ ショートステイ以外を利用した泊数



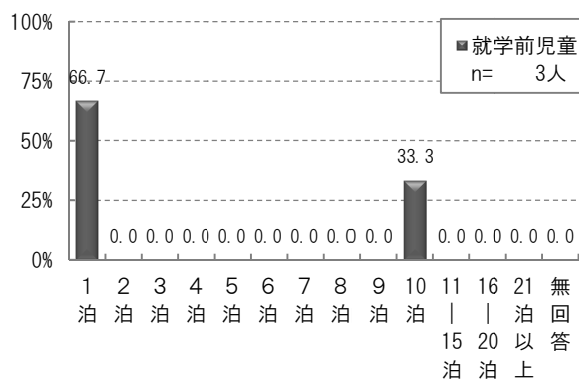
問 25. 1. ④ 子どもを同行させた泊数



問 25. 1. ⑤ 子どもだけで留守番をさせた泊数



問 25. 1. ⑥ その他の対処をした泊数



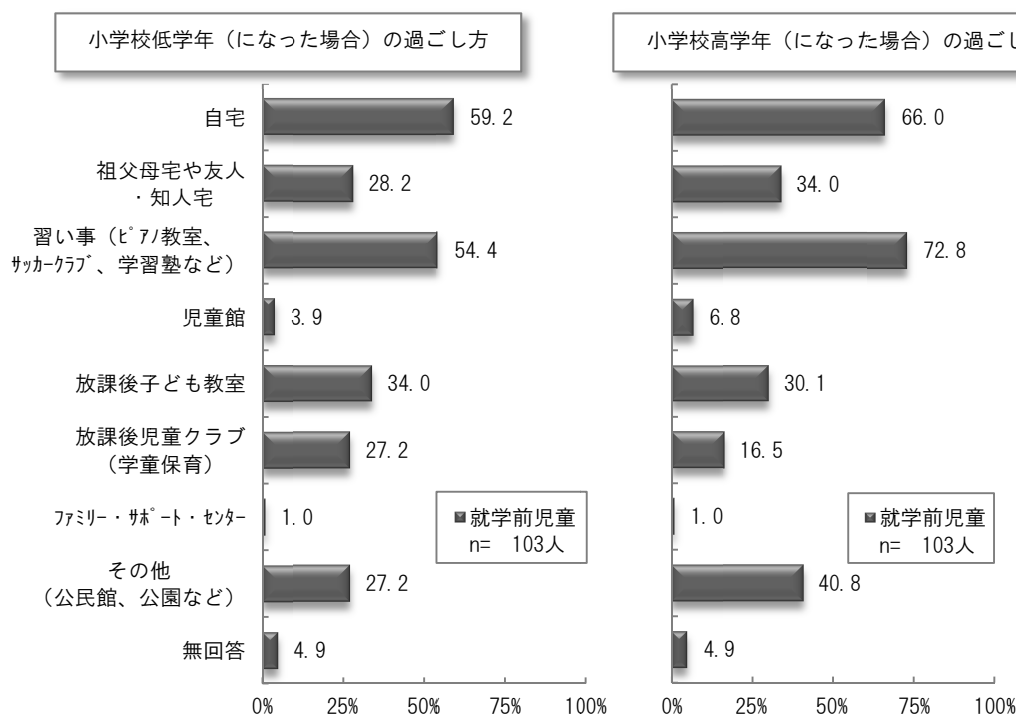
3 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後の過ごし方について

放課後の過ごし方をみると、小学校低学年のうち「自宅」(59.2%)、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(54.4%)、「放課後子ども教室」(34.0%)、「祖父母や友人・知人宅」(28.2%)の順に希望しています。

また、小学校高学年になっても「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(72.8%)、「自宅」(66.0%)、「祖父母や友人・知人宅」(34.0%)、「放課後子ども教室」(30.1%)となり、放課後児童クラブ(学童保育)は(16.5%)で10.7ポイント減少しています。

問 26・問 27 放課後の過ごし方の希望



※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生、「小学校児童」は1～6年生の意味です。

保護者が放課後を過ごさせたい具体的な場所と日数をみると、「自宅」では「3日」「5日」（低学年時期 21.3%）と「2日」（高学年時期 30.9%）が最も多くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」では、「1日」（低学年時期 48.3%・高学年時期 45.7%）が最も多くなっています。

「習い事」では、低学年・高学年の時期ともに「1～3日」という回答が多くを占めています。「児童館」と「放課後子ども教室」では、低学年の時期において「1～5日」の中で回答がばらついていますが、低学年の時期は「3日」「4日」、高学年の時期になったら「1日」という回答が多くなっています。

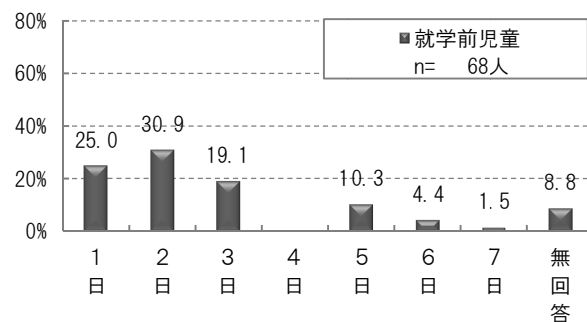
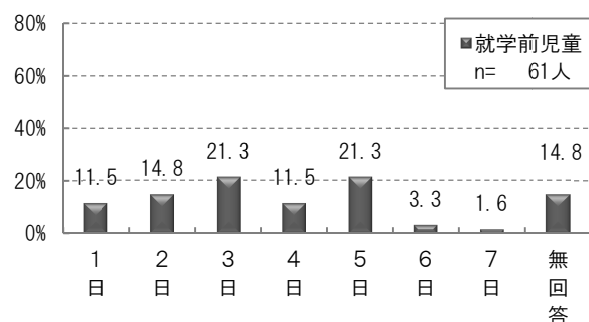
「放課後児童クラブ」では、「5日」（低学年時期 71.4%・高学年時期 64.7%）が最も多くなっています。

問 26・問 27 放課後の過ごし方の希望日数 （※小学生は現状または希望する日数）

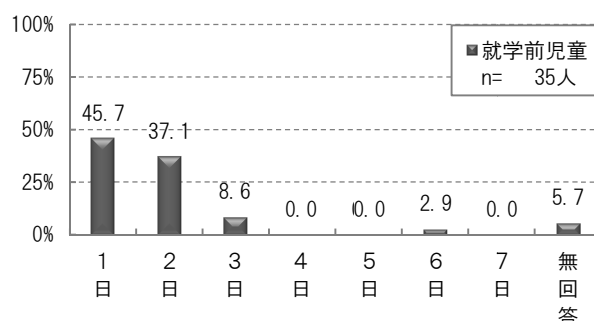
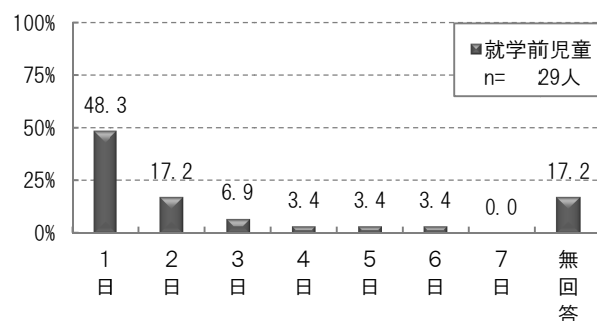
小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

自宅



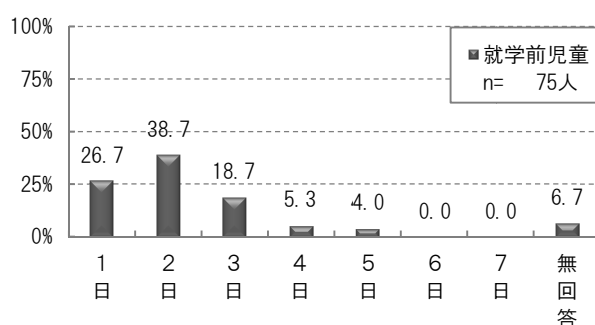
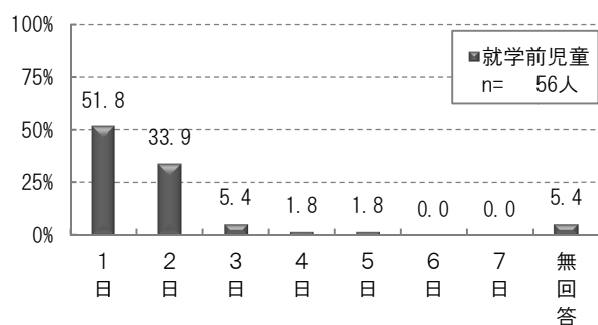
祖父母宅や友人・知人宅



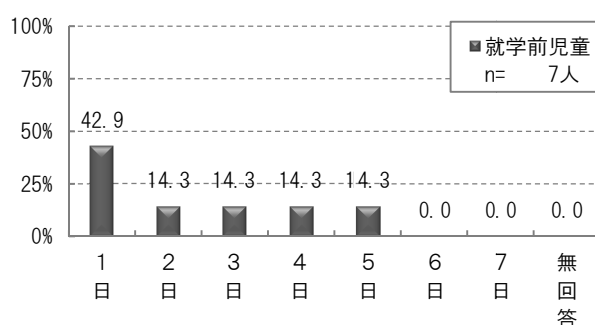
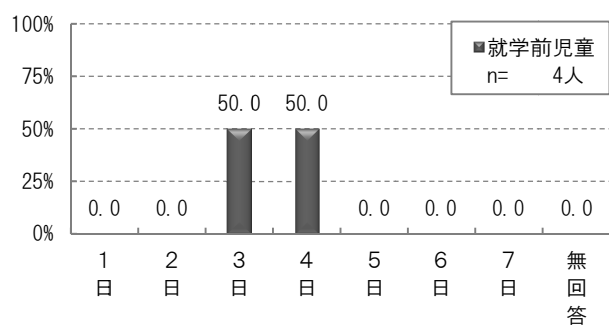
小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

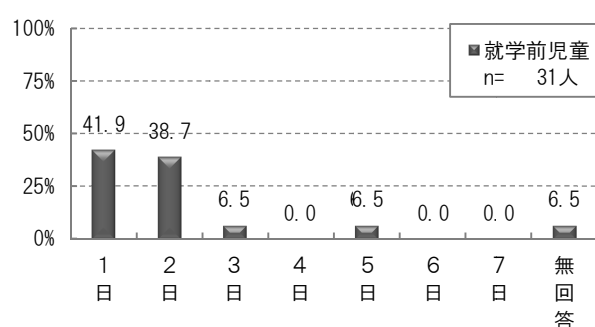
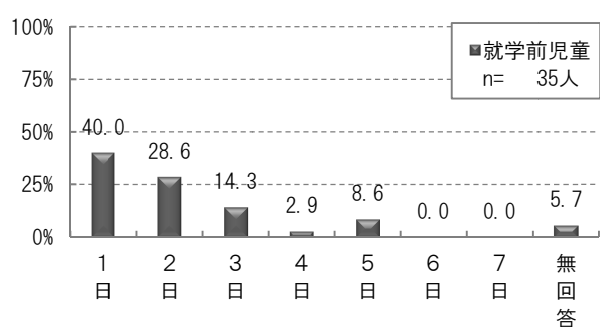
塾や習い事



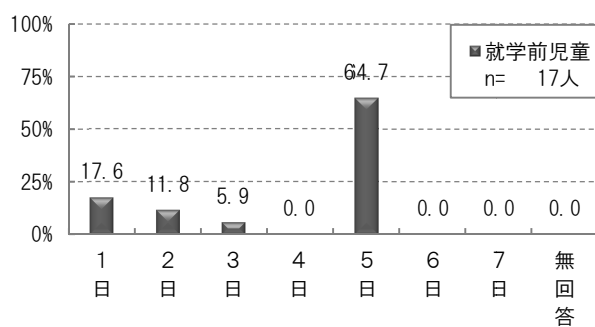
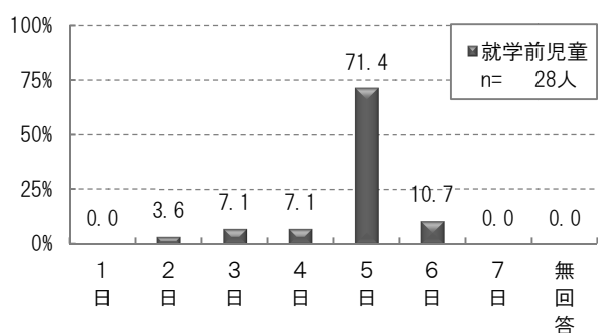
児童館



放課後子ども教室



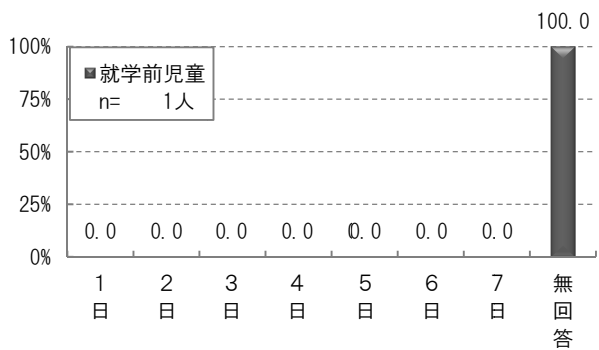
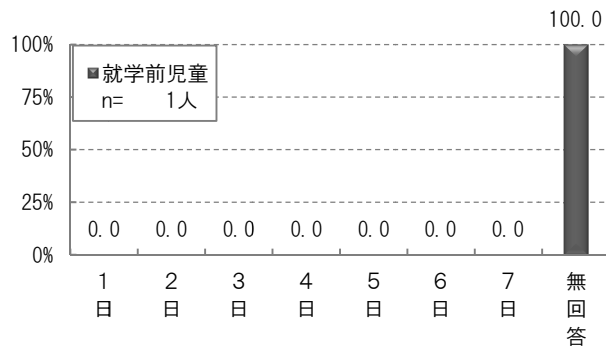
放課後児童クラブ



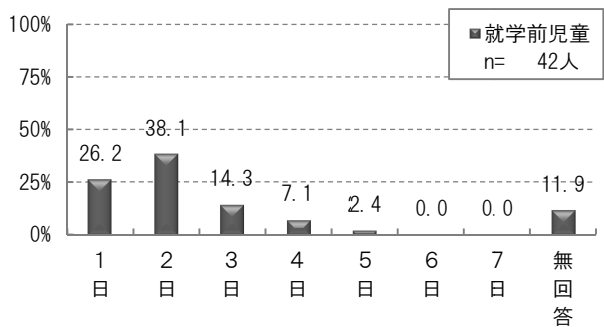
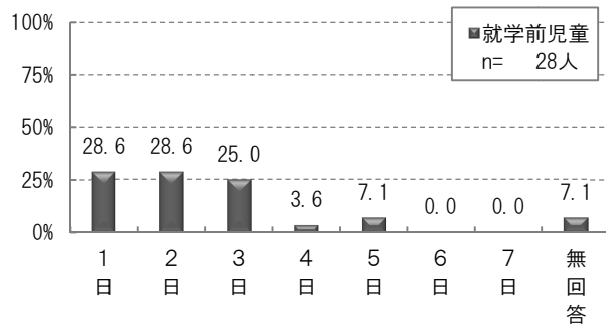
小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

ファミリー・サポート・センター



その他（公民館、公園など）

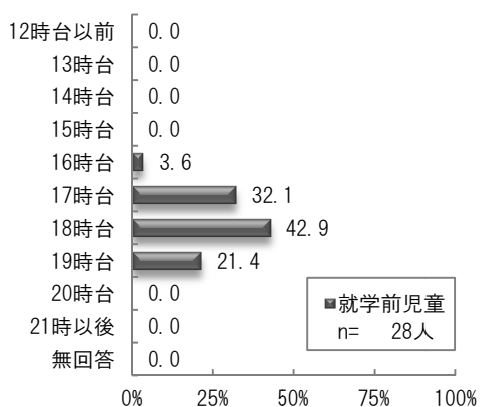


下校時から放課後児童クラブを何時まで利用したいかをみると、低学年の時期で「18 時台」（42.9%）、「17 時台」（32.1%）、「19 時台」（21.4%）の順、高学年の時期で「18 時台」（41.2%）、「17 時台」（29.4%）、「19 時台」（17.6%）の順に希望し、高学年の時期で「16 時台」の利用希望がやや増えています。

「放課後児童クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間（就学前児童の希望）

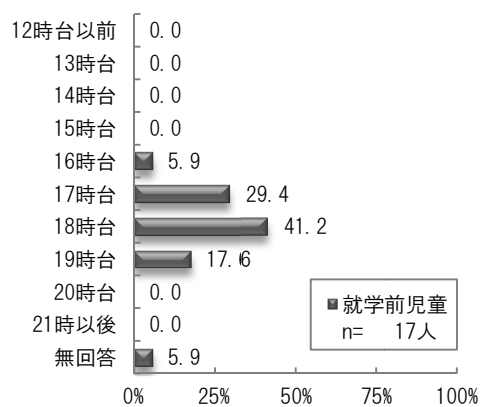
【小学校低学年の時期】

問 26. 6. 1 下校時からの利用希望時刻



【小学校高学年の時期】

問 27. 6. 1 下校時からの利用希望時刻



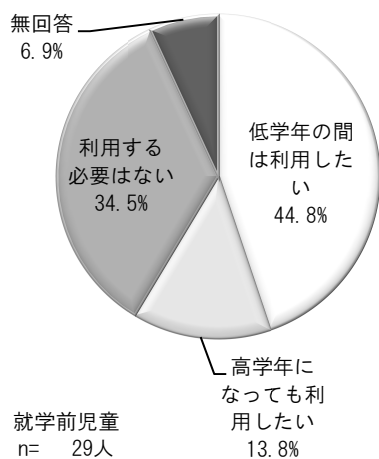
(2) 土曜・休日の放課後児童クラブ利用について

放課後児童クラブの土曜・休日の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」(土曜 44.8%・休日 17.2%)、「高学年になっても利用したい」(土曜 13.8%・休日 13.8%)、「利用する必要はない」(土曜 34.5%・休日 62.1%) となっています。

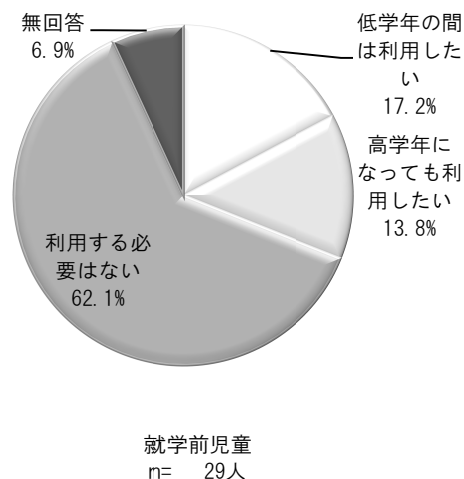
土曜日の希望利用開始時刻は、「8 時台」(41.2%) が最も多く、希望利用終了時刻では「18 時台」(35.3%) が最も多くなっています。

休日の希望利用開始時刻は、「8 時台」(55.6%) が最も多く、希望利用終了時刻では「17 時台」(44.4%) が最も多くなっています。

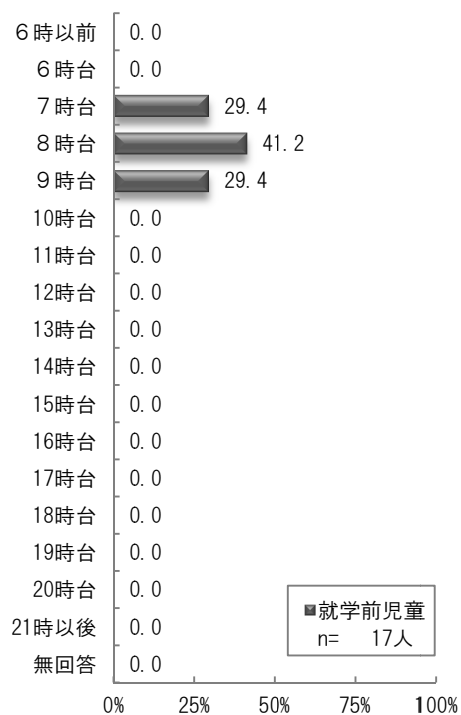
問 28(1) 土曜日の利用希望



問 28(2) 日曜・祝日の利用希望



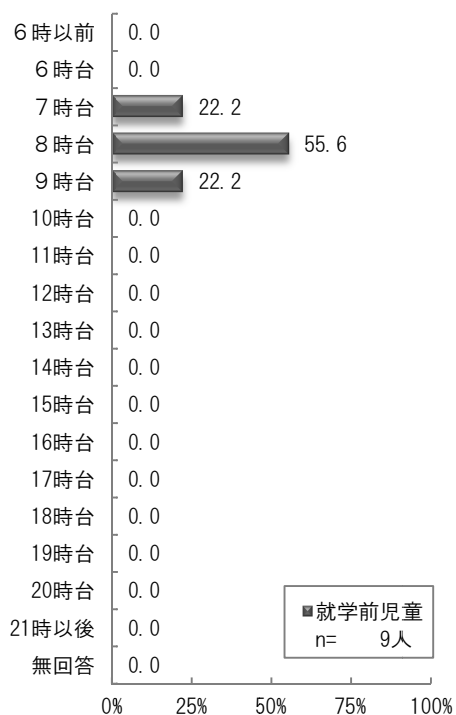
問 28(1).1 土曜日の希望利用開始時間



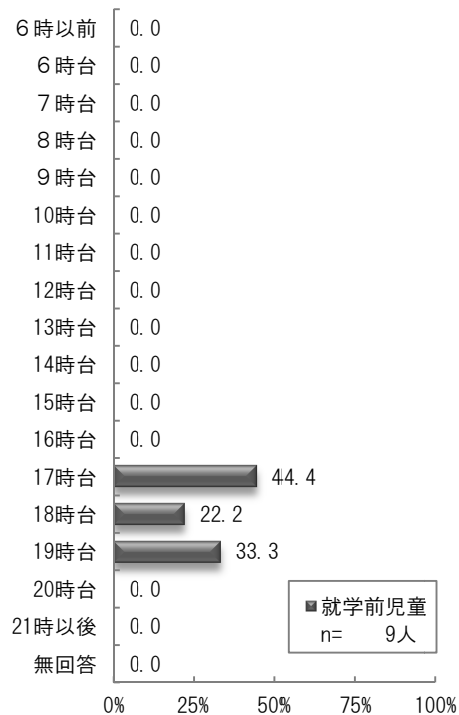
問 28(1).2 土曜日の希望利用終了時間



問 28(2).1 日曜・祝日の希望利用開始時間



問 28(2).2 日曜・祝日の希望利用終了時間

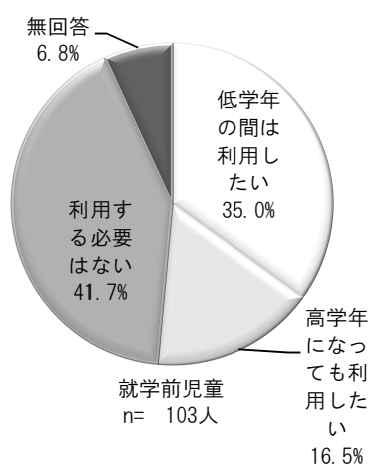


(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用について

長期休暇中の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」(35.0%)、「高学年になっても利用したい」(16.5%)、「利用する必要はない」(41.7%)となっています。

希望利用開始時刻は、「8 時台」(52.8%)が最も多く、希望利用終了時刻は「18 時台」(34.0%)が最も多くなっています。

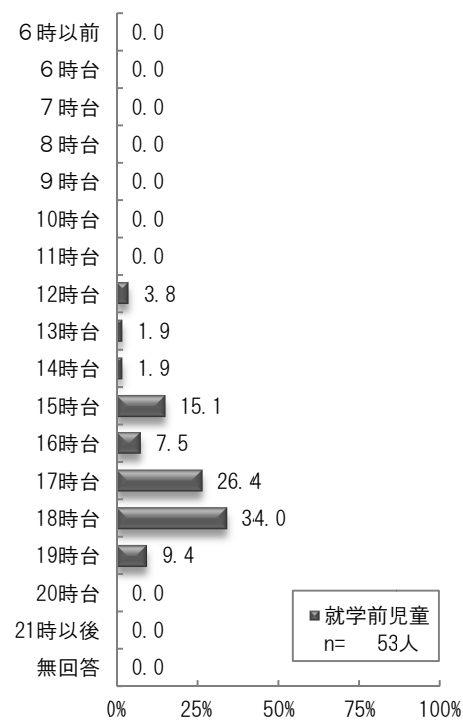
問 29 長期休暇中の利用希望



問 29.1 長期休暇中の希望利用開始時間



問 29.2 長期休暇中の希望利用終了時間



4 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について

子育て支援事業の周知度をみると、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」「保育所や幼稚園の園庭等の開放」（各 81.4%）、「保育所の情報相談・相談事業」（52.5%）、「子育て総合相談窓口」（50.2%）が上位を占めているものの、「家庭教育に関する学級・講座」（22.3%）、「教育相談センターでの教育相談」（33.3%）、「自治体発行の子育て支援情報誌」（30.7%）の周知度は低くなっています。

周知度が高くて利用が少ない事業は、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」（31.0%）、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」（48.3%）、「保健所の情報・相談事業」（18.5%）、があげられます。

今後の利用希望が多い事業は、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」（56.5%）、「自治体発行の子育て支援情報誌」（54.4%）となっています。

